



今年の夏も暑い日が続きましたね。暑い夏をエネルギーに過ごした子どもたちは、そろそろ疲れが出てくる頃です。十分な睡眠、食事に心がけ、残暑や急な気温の変化にも対応できるよう気をつけていきたいですね。先月は流行に伴い、手足口病にかかった子どもが数名おりました。これから寒くなるにつれて風邪を引くだけではなく、下痢や嘔吐、胃腸炎などの病気が流行してくるので、手洗い・うがいなどをして予防に努めていきましょう。



虫除けについて



涼しくなり外遊びの機会も増えますね。虫刺されは、かきこわしてしまつてとびひになることがあります。早めのケアと予防を心がけましょう。

◎虫刺され予防◎

- 肌の露出をなるべく防ぐ
- 虫の多い時間帯や場所をなるべく避ける
- 虫除けグッズを使用する（ウェットティッシュタイプなど）

刺されおしあつたら。。。
患部を洗って冷やす！
薬を塗る！
かきむしらないよう工夫する！



秋は薄着の服装で

9月も後半になると、朝に肌寒く感じる事が多くなり、子どもに厚着をさせたくなくなります。

しかし、本格的な寒さを迎える前のこの時期に薄着の習慣を付けておけば、風邪を引きにくい身体になるそうです。外気を肌で直接感じる事で自律神経が整い、病気への抵抗力が高まるようです。

下着や薄手の衣服などで調整し、上手く体温調節していきましょう。



救急の日～9月9日は救急の日です。ケガに繋がらない備えをしましょう～

家庭内で発生しやすい事故として誤飲があります。タバコの吸殻や電池、薬など、危険なものは子どもの手の届かない場所に保管する事が誤飲を防ぐための基本です。

お風呂の中での溺水も多く、バスタブには水をためたままにせず、場合によっては浴室に鍵を掛けるなどの対策が必要です。

子どもはあっという間に成長し、歩く・走る・よじ登るなどの行動ができるようになってくると同時に、全ての物に興味を持つようになります。注意力も乏しいため、一生のうちでも最もケガの多い時期です。子どもはまだ、自分で身を守る事はできません。保護者の皆さまは、自分の子どもの発育を知り、いつでも事故が起こりうることを忘れず、子どもを事故から守ることができれば良いと思います。

お家の中での事故を防ぐために 確認してみましょう！

- ・子どもの手の届くところに以下の物を置かないようにしましょう。
→薬、タバコ、ポット、炊飯器、洗剤、電池、子どもが飲み込める大きさの小さいものなど
- ・踏み台になるようなものは窓付近や、ベランダに置かないようにしましょう。
- ・コンセントなどはいたずらできないようにしましょう。
- ・浴室には子ども1人で勝手に入れないように工夫しましょう。

